



## 実質賃金・価格転嫁にこだわり 生活向上が実感できる賃上げを勝ち取ろう

連合山形会長 渡部 貴之

すでに、2026春季生活闘争が本格化しています。直面する課題は、何と云っても「暮らしが良くなった」と実感できる状況を作り、定着させることです。構成組織の奮闘により2年連続で4%台の賃上げを実現しています。ですが、いまだ物価高騰の影響を払拭するには至っていませんし、賃上げの恩恵が全ての労働者に行き渡っているとは言い難い状況にあります。そこで、連合山形としては、今春季生活闘争に当たって、次の四つのことを意識した取り組みを進めていこうと、呼びかけているところです。

一つ目は「心を一つに、賃上げノルムの定着を」です。「ノルム」とは、当たり前と思うこと・習慣という意味です。よく「景気は気から」と言われるように、景気動向には国民の気持ちが大きく左右されると言われています。ですから、今春季生活闘争を通じて、賃金は上がるんだ、上がるのが当たり前なんだ、という社会的気運を盛り上げていこう、ということです。

二つ目は「賃上げ率プラス1%を、労働組合の力で」です。厚生労働省の調査では、労働組合の有無によって賃上げ率に約1%の差がある、という結果が出ています。ですから、労働組合の団体交渉が果たしている役割・意義を組合員全体で共有し、賃上げ水準獲得にむけ頑張れば、結果として労働組合の存在感を高めることにもつながる、ということです。

三つ目は「実質賃金1%上昇軌道で、生活向上へ」です。各構成組織が、「暮らしが良くなった、と実感できる賃上げを勝ち取ろう」との思いを持って取り組めば、実質賃金対前年比プラス1%の流れを作りだし、生活向上へとつながっていく、ということです。

四つ目は「ONEUP・一歩前進で、団結強化を」です。今申し上げてきた三つのことを意識した取り組みによって、ワンランク上の成果や、厳しい単組にあっても一歩前進を勝ち取り、それを組合員と共有することで団結強化・組織強化を図っていこう、ということです。

ぜひ、この四つの「1 (ONE)」を各構成組織・地域協議会の中で共有していただき、春季生活闘争勝利にむけ全力で取り組んでいきましょう。連合山形としても、価格転嫁・適正取引の周知・徹底を各方面に働きかけ、皆さんのたたかいを後押ししていきます。ともに、頑張りましょう。